

令和4年度 第1回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事録

2022.03.02 (水) 18:30-20:00

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高相（担当理事） 今釜（委員長） 大谷 奥田
金村 川口 小西 酒井 須田 手束 中西
西田 町野（書記） 宮腰 村上 大和 湯川（敬称略）
欠席委員： 相澤（敬称略）

議事

1. 報告事項

（ア）日本脊椎脊髄病学会理事会（2022年2月）：高相先生

高相担当理事から理事会報告がされ、下記内容を確認した。

1. 本委員会を中心に今後プリオン対策についてのアンケートを行う。

（イ）貸出器械（Loan Instruments）使用患者が後日プリオン病と判明した事例報告（日本整形外科学会より）：酒井先生（JOA 安全医療推進委員会アドバイザー）

酒井先生から下記報告がされた。

1. プリオン病感染予防ガイドライン（2020年版）ハイリスク手術手技の解釈について説明された。
2. JSSR 学会ホームページで告知する案内文について、2022年2月17日のJOA 理事会で承認された。
3. 案内文については、次回のJSSR 理事会でも確認して頂く。
4. 硬膜切開・損傷した場合には、使用した医療機関でプリオン対策用の洗浄・滅菌して返却すると説明された。
5. JSSR 関連施設におけるプリオン対策洗浄の実施状況について、アンケート原案を作成しJOA 安全医療推進委員会 WG で検討した。
6. 今後アンケート原案を修正し本委員会で確認する。JSSR 倫理委員会へも申請予定。

2. 検討・報告事項

（ア）脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性に関する研究：
酒井先生、手束先生

手束先生から研究進捗について下記報告がされた。

1. 4月のJSSR 学会発表へ向け、メールにて発表スライドを委員で確認した。

2. 学会で発表するスライドを供覧頂き、内容の確認を行った。
3. 本調査について委員から指摘された箇所をスライド内容へ反映する。

(イ) 脊椎手術における部位確認に関する研究：川口先生

川口先生から研究進捗について下記報告がされた。

1. 4月のJSSR学会発表に向け、メールにて発表スライドを委員で確認した。
2. 学会で発表するスライドを供覧頂き、内容の確認を行った。
3. 学会員への啓発も発表の目的として調査内容を発表する予定。

(ウ) JSSR 統合型 DB 進捗状況：金村先生

金村先生から JSSR 統合型 DB 進捗について下記報告がされた。

- ・ 2月28日時点での集計で11723件の症例が登録された。
- ・ 指導医在籍施設1106施設のうち、登録施設が701施設（推定施設登録率77.8%）。
- ・ 今後データクレンジング、施設フィードバックを行う方向。
- ・ データ固定後解析し、1か月のデータをパイロット調査として報告を行っていく。
- ・ 合併症調査について研究計画書を作成し、今後JSSR倫理委員会へ申請する予定。
- ・ 4月のJSSR学会会期中にJSSR-DBの報告を行う。
- ・ 2022年度は4月から通年開始し、理事会でDB研究の内容を検討していく。
- ・ 新たな術式・Kコードについては適宜検討していく。

3. 次回、次々回委員会開催日

- ・ 約1ヶ月後のJSSR理事会開催後に予定（1時間の見込み）
- ・ 理事会が最終月曜日のため、月によっては月初の水曜日に予定
- ・ 【次回】2022.03.29（火）18時30分～
- ・ 【次々回】2022.04.23（土）朝、学会現地開催を予定